

別添



再エネ 100%への取り組み

株式会社千代田設備

建設業（設備工事業）

1. 目的及び中長期目標

当社は、再生可能エネルギーの活用により、深刻化する気候変動問題への対応と持続可能な社会への変革の一助となるため、2030 年度までに自ら使用する電力の 100%を再生可能エネルギーで賄う。

2. 2023 年度実績

事業所名	項目	2023 年度	2022 年度
本社	総消費量 (kWh)	22,278	20,548
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	7,758 (34.8%)	7,210 (35.1%)
	CO2 排出量 (kg)	6,636	6,095
両川営業所	総消費量 (kWh)	85,573	78,138
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	0 (0%)	78,138 (100.0%)
	CO2 排出量 (kg)	39,107	0
合計	総消費量 (kWh)	107,851	98,686
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	7,758 (7.2%)	85,348 (86.5%)
	CO2 排出量 (kg)	45,743	6,095

【実施した取り組み】

両川営業所は 2022 年 4 月より再エネ 100%電力となったが、高騰する電力事情により、一年間の契約のみで見直しを余儀なくされ、2023 年 4 月からは旧来の電力調達プランに戻ることにいった。本社の方も再エネの電力調達プランは確保できなかった。

3. 2024 年度計画

事業所名	項目	2024 年度
本社	総消費量 (kWh)	22,278
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	7,731 (34.7%)
	CO2 排出量 (kg)	6,648
両川営業所	総消費量 (kWh)	85,573
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	42,786 (50.0%)
	CO2 排出量 (kg)	19,554
合計	総消費量 (kWh)	107,851
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	50,517 (46.8%)
	CO2 排出量 (kg)	26,202

高騰する電力事情により旧来の電力調達プランとなったものを再度見直す。両川営業所は、2024 年 10 月から高圧用の再エネ電力調達プランに変更予定。本社については、低圧のため現時点で再エネ電力の調達プランはなし。

以上